



2025年 1月25日
第128号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

八王子地本「八地申第2号交渉報告集会」開催！

会場を埋め尽くす

檄

リモート合わせて61名の仲間が結集！

2025年1月24日、八王子地本申2号「三鷹営業統括センター武蔵小金井駅で発生した不当処分・不当転勤撤回を求める申し入れ」の第4回交渉が行われ、その後に「八地申第2号団体交渉報告集会」が開催されました。八王子地本およびリモート会場にて報告と意見交換が行われました。

- 会社は第3回交渉までの認識を変えないため、20分で交渉を打ち切らざるを得ない交渉となった。
- 会社は加害者の副長B、目撃者の副長C、および被害者Aさんからそれぞれ事情聴取を行ったことを根拠に処分発令したと回答するが、3者の証言内容に食い違いがある。そのため再調査を求めていたが、「再調査はしない」と回答した。一人の人生が大きく変わる重い処分を下しているにも関わらず、その根拠に問題があることを指摘しても全く受け止めない。また、「賞罰やプライバシーに関する議論は団体交渉に馴染まない」とAさんの不当処分撤回を求める申し入れにも関わらず、議論が進まない。
- 副長BがAさんをソファに押し付けた行為は「不適切」と認めるも、それを振り払った行為は「正当防衛と考えていない」「正当防衛かの判断は団体交渉ではできない」と回答。首都圏本部による高圧的な事情聴取、反省を強要された件については、「事実はない」と全く不誠実な回答に終始している。
- 2018年、会社が「新たな労使関係」として、JR東労組に示した6項目の一つ「労使間の問題は話し合いで解決する」とあるが、団体交渉に審議誠実に向き合わず、自らこの話し合いでの解決を放棄・無視している。従って、議論ができない、進まない、話し合いで解決する姿勢が見えないため、団体交渉を打ち切らざるを得ないと通告をしたが、会社は「交渉は終了で良いですか」と訊いてくる始末であった。

集まった仲間からは「いつ自分に降りかかるかわからない。他人事にはしない」「腐りきった経営姿勢を許さない。是正していくために負けられないたたかい」など怒りの発言が相次ぎました。

Aさんからも「JR人生残り40年、波風をたてず泣き寝入りも考えたが、健全な職場をつくる第一歩として負けられないたたかいだ。」と、語られました。

「泣き寝入りはさせない！ 他人事にはしない！」
不当処分・不当転勤撤回を勝ちとるまで全組合員でたたかい抜こう！